

## おじいちゃん、おばあちゃんありがとう。

9月14日の河野地区敬老会を皮切りに、今年75歳以上の方（南条地区748人、今庄地区875人、河野地区349人）を招待、約1,000人が参加し地区ごとに敬老会が開かれました。



## 南越前町敬老会



まず、各地区で金婚のご夫婦、米寿を迎えた方がそれぞれ表彰されました。（計 金婚21組・米寿45人）その後、芸能アトラクションや保育所児らのお遊戯に盛んに拍手を送り、「お互いに健康で元気になりたいね」と歓談しながら会食を楽しんでいました。

## 高齢者慰問

町では、今年95歳以上の在宅のお年寄り39人を訪ねる高齢者慰問も行い、「長生きしてください」と記念品を渡すなど、長寿を祝いました。

### 南越前町の長寿

横綱

山本はるゑさん  
(103歳・糠)



大関

田代アキエさん  
(101歳・藤倉)



関脇

楠はるをさん  
(101歳・東倉)



## よみがえる宿場の歴史・見て、食べて

9月16日、JR今庄駅周辺で街道浪漫今庄宿が開かれ、今庄自慢の食や今庄に残る夜叉伝説などが終日披露されました。

街道沿いには約50店の商店や模擬店が並び、今庄自慢のそばや地酒、茶飯、焼きそば、焼鯖寿しなどを販売、県内外から多くの客で賑わいました。

午後6時過ぎには、継承「夜叉伝説」～千の灯火

## 街道浪漫今庄宿 2007



行列～をテーマに、上の関所、中の関所、下の関所から蛇踊り行列がスタート。全長21メートルの大蛇を地元の小、中学生らが操り、公徳園に向かいました。公徳園では、伝説にちなんだ「かんざし」や「針山」、「ひしゃく」を山海里PR隊らが扮する夜叉姫に奉納、蛇踊り「歓迎の舞」を舞いました。舞踊「夜叉伝説」や吟舞「しゃくなげ」などが次々と披露され、今庄の歴史をよみがえらせていました。



## 豊作を祈り 武周ケ池竜神祭

8月19日、牧谷の野見岳にある武周ケ池で、武周ケ池保存会（桂川秀雄会長）らによる雨乞い行事「竜神祭」が行われ、地元住民や登山愛好家など約70人が参加しました。

ログハウス前の入山式では、地元有志らが詩吟「武周ケ池に立つ」を唄い上げ、龍神太鼓の響きに見送られ登山を開始。

武周ケ池に到着すると、雨乞いの祈禱が行われ、米や御神酒などを乗せたカワラケを流し、今年一年の豊作を祈りました。



## よく知りたい原子力のこと



## 原子力発電施設見学会

8月23日、原子力について正しい知識を持ち理解を深めてもらおうと、町内4つの小学校5年生児童114名が原子力発電施設を見学、原子力について学びました。

「敦賀原子力発電所」構内のバスでの見学や「原子力館」で係員から発電所の説明を聞いたあと、「あっとほうむ」でクイズやゲームで原子力について学習。子どもたちは、「発電所やウランのことがわかった。」「電気をむだに使用しないようにしたいです。」「原子力発電所が安全であることなどがわかった。」と感想を話し、原子力が私たちの暮らしを支える身近なエネルギーであることを学びました。

## 交通事故のない社会を目指して

### 交通安全キャラバン隊来町

8月4日全国交通安全母の会が「みんなですすめよう交通安全」をスローガンに、全国に交通安全メッセージを伝える交通安全キャラバン隊が来町しました。

キャラバン隊は「世界一安全な道路を目指し、地域住民と一体となった交通安全対策を推進してほしい。」とする高市早苗内閣府特命担当大臣交通対策本部長からのメッセージを読み上げ伝達。対して川野副町長は「悲しい交通事故を防ぐためには思いやりが必要。全町民をあげて交通安全活動に取り組みたい。」と決意を述べました。



## 防火のこころ育て

### 南越前町幼年消防クラブ連合会「ぼうかのつどい」

9月4日と7日、南消防署で南越前町幼年消防クラブ員（町内6保育所と2幼稚園4・5歳児）約200人が参加し、ぼうかのつどいが行われました。

これは、幼年期の頃から、防火意識を育ててもらおうと行われ、煙を吸わないように避難する方法を教わったり、ホースを握っての放水を体験。また、救助工作車などを間近に見たり、遭難者などを救助する舟型タンカに乗せてもらい、子どもたちは「人を助けるからすごい。大きくなったら消防士になりたい」と話していました。

